



のう 能 「船弁慶」

\* 場所 \* ばしょ 兵庫県 兵庫県 だいもつ うら 大物の浦 \* 季節 \* きせつ 秋または冬 あき ぶゆ

～おはなし～

みなもと<sup>の</sup>よしつね<sup>あに</sup>みなもと<sup>の</sup>よりとも<sup>あらし</sup>  
源義経は、兄の源頼朝との争いをさけるため、弁慶<sup>べんけい</sup>や静御前<sup>しずかごぜん</sup>などの仲間たち<sup>なかま</sup>  
と<sup>とも</sup>共に<sup>さいごく</sup>西国<sup>む</sup>へ向かっていた。

よしつね<sup>だいもつ</sup> うら<sup>しずかごぜん</sup> みやこ<sup>かえ</sup> ぶね<sup>の</sup>  
義経は大物の浦で静御前を都へ帰らせ船に乗ります。

ぶね<sup>で</sup> あらし<sup>たいらのとももり</sup> へいけ<sup>ぶし</sup> おんりょう<sup>の</sup>  
船が出ると嵐になり、平知盛をはじめとする平家の武士の怨霊がおそいか  
かってきましたが<sup>よしつね</sup>義経<sup>みごと</sup>たちは見事に<sup>げきたい</sup>撃退し<sup>たび</sup>旅<sup>つづ</sup>を続けるのでした。